

令和 6 年 8 月 2 日

全国知事会「国際交流のあり方検討ワーキングチーム」報告

国際交流のあり方検討ワーキングチーム

チームリーダー 岡山県知事 伊原木 隆太

本ワーキングチームで行ったアンケート結果及び令和 6 年 3 月 1 2 日に開催したワーキングチーム会議の結果をとりまとめたので報告します。

なお、本報告をもって、本ワーキングチームを廃止します。

○報告内容

- ・ 報告書「国際会議の今後のあり方」
- ・ 全国知事会における国際会議に関する調査結果

国際会議の今後のあり方

都道府県の意見を踏まえ、今後の国際会議のあり方について、次のとおり方針案を示す。

1 国際会議の開催に係る当面の方針

(1) 韓国【担当：全国知事会事務局及び次々回開催都道府県】

例年通りに開催（次回は、令和7年度 韓国開催）

- 【意見】・お互いにメリットのある具体的なテーマの設定が重要である。
- ・韓国での会議の開催にあわせて、知事団によるプロモーションの実施についても検討する方がよい。

(2) アメリカ【担当：全国知事会事務局及び総合戦略特別委員会】

必要に応じて開催（交流再開の成果を継承し、会議の開催に向けて交流を促進。）

- 【意見】・お互いにメリットのある具体的なテーマの設定が重要である。
- ・政治、経済、学術など様々な分野で協力・連携ができる。地方政府間での対話やスタートアップなどの連携は有意義である。
 - ・引き続き、会議の開催に向けて交流を深めていくのがよい。
 - ・アメリカでの会議の開催にあわせて、知事団によるプロモーションの実施についても検討する方がよい。

(3) 中国【担当：全国知事会事務局】

必要に応じて開催（国際情勢に応じて判断。当面は様子を見る。）

- 【意見】・経済や観光、環境分野など双方の関心やニーズに合ったテーマを設定して開催する方がよい。
- ・日中の経済依存関係は現時点では大きく、地方レベルでの対話、草の根交流も一定の意義がある。
 - ・中国での会議の開催にあわせて、中国政府等との面談や要請等が期待できる。

(4) ロシア【担当：全国知事会事務局】

必要に応じて開催（国際情勢に応じて判断。当面は様子を見る。）

- 【意見】・国の外交政策を踏まえて慎重に決定する必要がある。
- ・具体的な成果が想定される場合に実施を検討する方がよい。

(5) フランス【担当：全国知事会事務局】

必要に応じて開催（具体的な成果が想定される場合に開催）

- 【意見】・20年以上開催していないことから、会議開催の必要性から検討が必要である。
- ・クレア主催の日仏自治体交流会議（隔年開催）で交流する方法について検討してはどうか。

2 他の地域との国際会議の開催について

- ・当面は、開催実績のある国との国際交流の再開・発展を優先する。
- ・新たな地域との交流については、国際情勢や国の外交政策を踏まえた上で、交流及び会議の可能性があれば検討する。

【意見のあった地域】

○ベトナム

ベトナムにおける日本への高い関心、期待の高さが伺えたので、全国知事会として各地域の魅力を発信していくことで、より効果的かつ効率的な活動ができると考えている。ゼロカーボンの推進や人材確保といったテーマが想定される。

○インド

経済成長著しく、2026年にはGDPが日本を追い越すと予測され、政治、経済など様々な分野での交流が適当。

日本との間で政治的軋轢もなく、日印関係の強化の機運もあること、インドとの提携が盛んになっていることなどから、連携は有意義と考える。

○ASEAN諸国

ASEANの枠組みを活用（開催場所を諸国間で回すなど、ベトナム、インドネシア、フィリピンの他、各国理解を深める機会の構築も可能）

3 駐日大使との関係強化

- ・国際交流を進めていくにあたり、駐日大使との意見交換会などを通じて関係強化を図る。（令和6年1月29日に、EU加盟国駐日大使との意見交換会を東京で開催）
- ・インドやASEAN諸国などについては、まずは、駐日大使との交流を検討する。

【意見】・海外への渡航は、時間的にも費用的にも負担が大きいですが、駐日大使との交流であれば、負担も少ない。

- ・駐日大使を通じて相手国の情報収集や交流のきっかけづくりになるほか、駐日大使にとっても知事との交流は実績になる。双方にメリットがある。

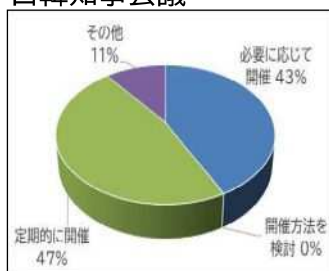
4 その他の意見

- ・国際交流は、顔を合わせることによる友好親善の意味合いがありつつも、具体的なテーマを持ち互いにメリットがないと継続が難しいという現実もある。定期開催にこだわらず、社会・経済情勢や両国の課題を踏まえて、都度開催を検討していく方がよい。
- ・有意義な会議となるよう、会議の開催目的を明確に設定することや、両国の開催機運の高まり等を捉えて開催することが重要である。
- ・海外で会議が開催される場合、訪問に合わせて海外へのプロモーション活動を展開できれば、より効果的かつ具体的な成果が期待できる。
- ・開催地の負担や参加率を鑑み、同一年に1～2カ国との会議となるよう、できる範囲で調整を行うことが望ましい。

全国知事会における国際会議に関する調査

Q1 全国知事会における国際会議について、知事の所感をお伺いします。
※現状ではなく、海外情勢的に交流が可能な状態であるという前提でお答えください。

日韓知事会議



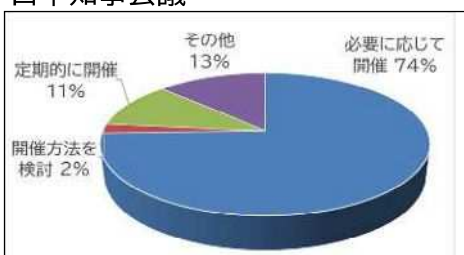
地政学的にも信頼関係の構築が望ましい。
現状の交流を維持(テーマに応じ希望した自治体に参加)し、更なる交流を深める。
会議の開催にあたっては、インバウンドや輸出の拡大などの成果に繋がるような議論が行われることを希望する。
標記会議が11月に6年ぶりに開催されたところ、引き続きの開催に当たっては、両国・両地域にメリットのある具体的なテーマの設定が重要。

日米知事会議



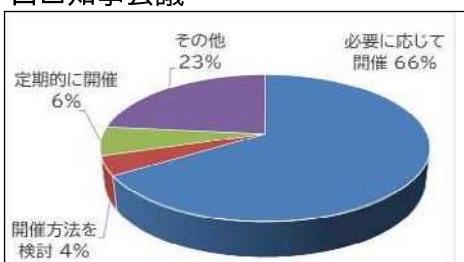
我が国にとって最も重要な国であり、交流の機会を設けることは重要。
両国・両地域にメリットのある具体的なテーマの設定が重要。
交流再開の成果を今後継承すべき。
相互に意義のある会議の開催に繋がるよう引き続き交流を進めていく方がよい。
7月の日米知事オンラインミーティングを踏まえ、日米知事会議の早期再開と一層の交流促進が望ましいと考える。
政治、経済、学術など様々な面で協力・連携、国家間での取組のみならず、地方政府間での対話やスタートアップなどの連携は有意義。
会議の開催にあたっては、基地等の地域の特性を活かした交流拡大や核なき世界の実現などの成果に繋がる議論が行われることを希望する。
今年度の米知事会議への出席や知事会議(山梨県)でのオンラインミーティングの感触を踏まえ、開催方法や開催頻度等を検討。

日中知事会議



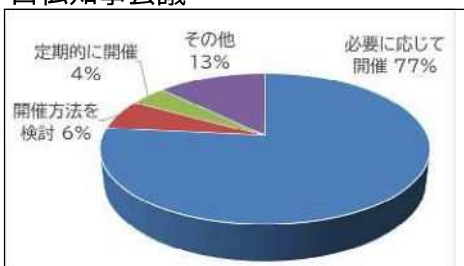
経済や観光のほか、環境分野など日中双方の高い関心やニーズに合わせた事案に関し、必要に応じて開催する形式が適切と考える。
尖閣や処理水問題等の緊張が継続も、日中の経済依存関係は大、地方レベルでの対話、草の根交流も一定意義あり。
会議の開催にあたっては、鮮魚の輸出再開やインバウンド拡大、核なき世界の実現などの成果に繋がる議論が行われることを希望する。
自治体がまとまって会議(渡航)を行う機会にあわせ、中国政府等との面談や要請等が期待できる。
ビザ取得の可否など相互往来の状況を踏まえて開催方法を検討した方がいい。
ALPS処理水放出後、輸入規制強化等の動きを見せるなど、両国関係は難しい状況であり、当面様子を見る必要がある。

日ロ知事会議



国際的な情勢を鑑みつつ、具体的な成果が想定される場合に実施を検討してはいいかがか。
ウクライナ戦争等、ロシアを取り巻く国際情勢を踏まえて開催方法を検討した方がいい。
核なき世界の実現などの成果に繋がる議論が行われるのであれば、会議開催の意義があると考えます。
再開にあたっては、国の外交政策を踏まえて慎重に決定する必要がある。
国際情勢を注視しつつ会議開催の必要性について検討が必要。
ウクライナ戦争継続中の開催は困難であり、現時点での開催は見合わせるべき、戦争終了後、ロシアの国際社会への復帰具合などにより再開を判断。

日仏知事会議



同じ西側諸国として友好的な交流を進めていくべき
クレア主催の日仏自治体交流会議が2年に1回開催されており、そこで交流することが可能。
フランスに限らずEU加盟国の大使との意見交換などを通じて欧州との交流を深めていくのがよい。
再開にあたっては、両国・両地域にメリットのある具体的なテーマの設定が重要。
会議を開催する場合には、輸出拡大や核なき世界の実現などの成果に繋がる議論が行われることを希望する。
国際的な情勢を鑑みつつ、具体的な成果が想定される場合に実施を検討してはいいかがか。
20年以上開催していないことから、開催方法、会議開催の必要性、再開の可否について検討が必要。

全国知事会における国際会議に関する調査

Q1

全国知事会における国際会議について、知事の所感をお伺いします。
※現状ではなく、海外情勢的に交流が可能な状態であるという前提でお答えください。

(その他意見)

知事会として会議を開催することの意義やメリットをふまえて決定する必要がある。
会議の設置当初とは国際情勢や国際交流の目的・あり方などについて大きく変化している と考える。知事会議については、現状に照らして、目的や必要性も含めて議論すべき。
状況を見て判断が必要
各自自治体において必要に応じて個別の交流が行われていると理解しているが、知事会として 何らかの必要性や目的とそれに応じた成果が見込まれる場合に開催すればよいのではない か。
・年ごと、国ごとに、各国との交流状況やその必要性(優先順位)が異なること。 ・同一年に複数国との会議を行うことは、開催地の負担も大きく、また、各都道府県からの 参加率にも影響があると思われること。 から、同一年に1~2カ国との会議となるよう、各年で必要に応じて調整する方が望ましい。
過去の成果が十分整理されておらず判断できない

Q2

開催実績のある国(韓、米、中、ロ、仏)以外との国際会議の開催意向について
開催希望があれば、国名とその理由を教えてください。

ベトナムとの開催を希望。令和5年5月にベトナムを訪問した際にベトナムにおける本県への 高い関心、期待の高さが伺えたので、全国知事会として各地域の魅力を発信していくこと で、より効果的かつ効率的な活動ができると考えているため。
東南アジア(ベトナム等)との国際会議の開催(ゼロカーボンの推進や人材確保といった自 治体共通の課題について協議)
○インド ・本県はインド・AP州と交流しており、その連携強化を働きかけているため。 ・本県以外にも(日印関係の強化の機運もあり)インドとの提携が盛んになっており、 他自治体との連携は有意義と考えるため。
<インド、ASEAN諸国> ・経済成長著しく、日本との間で政治的軋轢もなく、今後の連携は有意義 ・インドは、2026年にはGDPが日本を追い越すと予測され、政治、経済など様々な分野で の交流が適当 ・ASEANの枠組みを活用(開催場所を諸国間で回すなど、ベトナム、インドネシア、フィリ ピンの他、各国理解を深める機会の構築も可能) ・オーストラリアは観光やフードテックなどで連携の可能性あり
(交流とは違うかもしれないが)ウクライナやトルコなどの被災国に対し、復興支援など、全 国知事会として取り組めることがあるのであれば賛同する。
国際情勢を踏まえ、知事会として、都道府県の政策や施策に資する、連携の価値を見出せ る国・地域を対象とすべき。
コロナ禍が明けて、一時は途絶えていた国際交流が再開し始めていることを受け、 まずは開催実績のある国との国際交流を再開または発展させてはどうかと考える。それと同 時に、新たな国との交流についても、継続的に可能性を探ってはいかがか。
これまでの各国との会議で得られた成果等が示されておらず、新たに他の国と会議を開催 する段階にない。

全国知事会における国際会議に関する調査

Q3

今後の国際交流の在り方について
ご意見があれば自由に記載してください。

国際交流は、顔を合わせることによる友好親善の意味合いがありつつも、具体的なテーマを持ち互いにメリットのあるものでないと継続が難しいという現実もあり、定期開催にこだわらず、社会・経済情勢や両国の課題を踏まえて、都度開催を検討していくべきと考える。

有意義な会議となるよう、会議の開催目的を明確に設定することや、両国の開催機運の高まり等を捉えて開催することが重要である。

相互の経済発展につながる国際交流がなされるべき

海外で会議が開催される場合、訪問に合わせて「海外アプローチ」を展開した方が効果的、かつ具体的な成果も期待できると思われるので、そうした視点も踏まえて、対象国・会議の必要性や優先度についてご検討いただきたい。

これまでの各国との会議で得られた成果等を示すべき。

国際会議の開催にあたっては、単なる交流のみに留まらず、具体的な成果に結び付く取組とするべき

友好的な交流はもちろんのこと、それに加え、各都道府県の魅力を発信するプロモーション活動やスタートアップ等に重きを置いた交流を進めてみてはどうか

コロナ禍が明けて、一時は途絶えていた国際交流が再開し始めていることを受け、まずは開催実績のある国との国際交流を再開または発展させてはどうかと考える。それと同時に、新たな国との交流についても、継続的に可能性を探ってはいかがか。

今後も引き続き、目的を明確にした上で、交流相手国と双方にメリットある実施となるよう、会議形式や開催頻度にこだわらず、柔軟に検討していただければと考える。

相手国ごとに、その開催意義や目的をふまえて決定すべき。(共通の課題について情報交換・連携を図るなど)

友好・姉妹提携先など、各都道府県で状況が異なるので、全国知事会としての交流先は絞る方が望ましい。

また、今年の夏の全国知事会議のように、可能な場合はオンラインも活用。

全国知事会が開催するものとして、国際交流の目的・目標を明確にすること。また、なるべく多くの都道府県が参加することができるようオンラインの活用や、全国知事会議とあわせて開催するなどの工夫が必要ではないか。

国際情勢を踏まえ、知事会として、都道府県の政策や施策に資する、連携の価値を見出せる国・地域を対象とすべき。